



市政に対する 一般質問

ホームページにて一般質問の録画映像を公開しています。
二次元バーコードを読み取ってご覧ください。
※通信料がかかる場合があります。



木下 きたした

正 議員



中学校部活動の地域展開

問 「Fまちプロジェクト」の位置付けは。

答 子どもたちの活動を地域に移行するだけでなく、活動環境を企業や地域の皆さまと共創することにより、満足度を高め、子どもたちの成長に資する人づくりや企業などの認知度の向上、地域の活性化、まちづくりにもつなげたい。

問 文化振興計画と文化系部活動の地域展開との連携と整合性は。

答 マーチングや華道、「F活」に登録しているほか、「ふっくらぶ」では英会話、お菓子作りなどの活動ができるよう調整している。文化振興計画の基本理念である「文化のちからで誰もが心豊かに暮らしすまふくろい」の実現に向け取り組んでまいりたい。



部活動の地域展開の実証事業(ボッチャの様子)

礼儀教育の再構築

問 学校と家庭が共有できる、あいさつや言葉遣いなどのガイドラインを作成しては。

答 子どもたちが礼儀や節度を身に付けるには学校と家庭の連携が重要だが、一律の基準は示さず、子どもたちが相手や場面を踏まえたふさわしい言動を自ら考えることを重視している。



森岡 もりおか

弘記 議員



袋井市の農業を未来永劫守るには

問 農業の未来を支える人づくりとしての幼少期からの農業体験は。

答 小中学校では、野菜の栽培や田植え、収穫体験、農家訪問などを実施し、給食への地場産物の活用と合わせて、農業への関心を育んでいる。今後も地域の皆さまや関係機関と連携し、農業に触れる機会の充実を図ってまいりたい。

問 コワーキングスペース「BIRDS」の活用による6次産業化の推進は。

答 「BIRDS」では、農業者のセミナー参加や、ビジネスコンテストへの農業をテーマとした応募があった。「BIRDS」を通じて、学生時代からこうした分野との接続を持っていただけるようなことにも努めたい。



愛野こども園での田植え体験

市道湊川井線の整備

問 諸井橋を境に区間を分けた段階的な歩道整備の考えは。

答 区間を分けた段階的な整備は、投資効果の早期発現と財政負担の平準化という観点から、有効な手法であると認識している。来年度予定している「袋井みちプログラム」の改訂に合わせ、必要性や緊急性を検証し、優先順位を定める中で検討していきたい。



鈴木 すずき

功三 議員



袋井市の農業ブランドینگ

問 農業振興ビジョンに「付加価値の高い農産物の生産とプロモーションの推進」を掲げているが、具体的にどのような施策を行ってきたか。

答 現在、本市の基幹作物であるクラウンメロン、茶、米のブランド価値を高める取組をそれぞれ進めている。また、農作物の生産過程において、環境への配慮や食の安心・安全に対する関心の高まりを受け、環境に配慮した農作物を生産する農業者に対して環境保全型農業直接支払交付金による支援や、グローバルGAPなどの認証取得や更新に係る費用への補助交付を通して、市内農産物の付加価値向上を図っている。

問 品目を限定しない形で地元野菜全体を位置付けるようなブランドの考え方について検討しては。

答 学校給食における地産地消の推進も含め、地元産を食すムーブメントを醸成していくことは大切なことであり、引き続き、官民での推進に努めてまいりたい。



クラウンメロン品評会